

2021年2月9日（火曜）

全労金2021春季生活闘争ニュース・第1号

【全労金2021春季生活闘争統一スローガン】
いまこそ全国の仲間と思いをひとつに！心は密に団結を！

「全労金2021春季生活闘争方針」を全会一致で確認！

生命と健康を最優先に、全労金組織9,000名の団結と連帯で闘い抜こう！

◎全労金は、第72回中央委員会を開催し、全労金方針を全会一致で確立しました！

全労金は、昨年11月26日（木）に開催した第71回中央委員会にて「全労金2021春季生活闘争方針（案）」を提起し、以降、組織内討議に諮りました。そして、組織内討議で出された意見や、直近の新型コロナウイルス感染症の感染拡大に関する情勢等を踏まえ、1月28日（木）に開催した第72回中央委員会では、当初の方針内容を一部加筆・修正した方針（案）を提起し、全体で確認しました。

当初方針に加筆・修正した部分は、「要求の組み立て」について、2021春季生活闘争が、新型コロナウイルス感染症の影響が地域によって大きく異なる中で展開する異例の春季生活闘争であることに改めて触れ、次年度以降は2020春季生活闘争までの従来の要求の組み立てを基本とする考えを明記しました。

「全労金が示す要求課題」については、組織内討議で出された単組内での検討状況を踏まえ追記しました。具体的には、「雇用に関する環境整備」について、働き方の見直しに関する施策への対応が求められていることを踏まえ、「ジョブリターン制度」「年休積立制度」の新設や改善を求めることや、各種手当を含めた諸制度の改善を求める要求課題を加え、安心して働き続けることができる職場環境の構築を求める内容に修正しました。また、「新型コロナウイルス感染症に関する労働条件の整備」については、新型コロナウイルス感染症に限らず、今後も発生しうる新たな感染症への対策も含めた労働条件の改善や、職場環境の整備を求める要求課題に修正しました。

また、「闘いの進め方」については、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が11都府県（現在は2月2日に栃木県が解除され10都府県）に発出されていることや、一部の地方自治体から同様の宣言が出されていること、並びに、労金業態においても罹患患者やPCR検査の受検者が増えていること等を踏まえ、ストライキ権の確立時期を単組が職場実態を踏まえて対応する扱いに修正しました。

なお、第72回中央委員会では、6名の中央委員から議案に賛成の立場で方針（案）を補強する発言として、「コロナ禍の春季生活闘争であっても、感染症対策と要求へのこだわりを両立させる闘争を展開する」「嘱託等労働者の処遇改善に引き続き取り組む」「ストライキ権の確立時期は異なったとしても、統一闘争は揺らぐことなく、全労金組織で一丸となって闘争を展開する」等、いずれも2021春季生活闘争に対する力強い発言

を受けました。現在、単組では、全労金方針を踏まえた単組の方針（案）策定に受けた議論が進められています。2021春季生活闘争は、例年と大きく異なる社会環境下で進める闘争となりますが、全労金は、生命と健康を最優先に、全労金組織 9,000名の団結と連帯を力に変えて、掲げた要求の実現に向けて、闘争を展開していきます。

◆末留中央闘争委員長の決意表明

「全労金2021春季生活闘争方針」が確認されたことから、本日を持って、全労金中央執行委員会は中央闘争委員会に改組し、決意として発言する。

コロナ禍における2021春季生活闘争は、労働組合の要求主旨が正確に伝わるように、単組執行部・中間組織・職場組織・組合員との合意形成・認識一致を図る議論と営み、要求根拠の精査と要求内容の組み立て、そして、労使の認識を一致させるための事前交渉・協議の積み上げ、さらには、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底し、仮に、濃厚接触者や罹患した場合に単組闘争委員会がどのように対応するのか、執行部内で議論し、任務分担や交渉体制を整えていく必要が重要であると認識している。

単組執行部・中間組織・職場組織・組合員との合意形成・認識一致を図っていく中では、今まで当たり前の取り組みであったことに対しても、「なぜ」「どうして」、そんな疑問や意見が出てくると思っている。

このコロナ禍の中で、認識一致に向けた往復議論を経て「行動」と「考え方」をさらに深め共有することで、春季生活闘争を通じての「組織強化」に繋げていくことができると認識している。そして、春季生活闘争方針の実現によって、労金業態・関連会社で働くすべての職員の労働条件改善をはじめとしてモチベーション向上に繋がり、労働金庫業態の持続可能性を高めるものと認識している。

今後は例年以上に、全労金と単組、そして、単組間の連携が必要となることから、定例報告の活用と併せて、常に連携する意識を持つことも共通認識としたい。

本日確認いただいた方針に基づく2021春季生活闘争が、全労金組織の組織強化を図り、「定年まで健康で安心して働き生き続けられる職場」の構築につなげていくことを全体で確認して、中央闘争委員会としての決意とする。

ともに頑張ろう。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください！

以 上